

## サクラのハルシメジ

菊地 栄子

私が最初に出会ったハルシメジは雑木林のヤマザクラでした。それから数年後、公園の中でソメイヨシノのハルシメジに出会えました。この2種類のサクラのハルシメジは一つの事を除いて共通です。

発生の場所は公園、路傍、雑木林などの傾斜地で、表土は柔らかく、地面を覆う植物は多くなく、ジャノヒゲ、ヤブラン、ツタなどの宿根のものが生えています。サクラは斜面に枝を、根を伸ばす。その根にハルシメジは菌根を結ぶのでしょうか。斜面一面にランダムに生えます。1本のサクラで600本も採れたことがあります。ソメイヨシノは発生が少なく、過去の収穫を全部足しても100本に満ちません。それどころか此のハルシメジは採集後にヒダや柄が一時黄色に変色するのです。

傘は幼菌発生時5mmほどで、白く丸い。成長するにつれて黒味がかかった灰色になる。中央が盛り上がった円錐形で絹糸状。傘の径は30mm~80(100)mm。



ヒダは幼菌時白いが成長と共にピンク色に。粉臭がある。

柄は幼菌時白い。のち傘の色を帯びた灰色になる。繊維状で中実、柄元に向かって太まり、先は細まる。太さ5mm~8mm、長さ50mm~80mm。

食。熱を加えるとかなりの悪臭が出る。煮上げて冷えると悪臭は消えて、旨みが出ます。おいしいです。